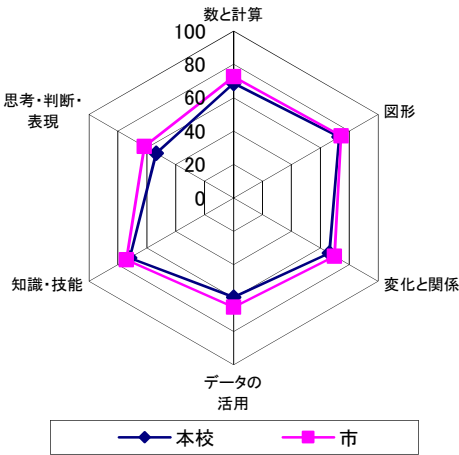


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	68.6	72.6	71.6
	図形	73.0	74.4	72.0
	変化と関係	66.2	69.8	62.6
	データの活用	59.5	65.5	59.1
観点別	知識・技能	71.9	74.1	68.9
	思考・判断・表現	53.4	61.6	63.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○小数第一位×小数第一位の計算問題について、正答率が82.0%と市の平均よりも2.8ポイント高い。 ●分数の除法の文章問題に合った式を選ぶ問題では、正答率が40.0%と、市の平均よりも3.7ポイント低い。	・基準とする量や比較する量を使いながら考える問題に課題がある。文章問題を読んでいくときに基準量などをしっかりおさえながら問題を解いたり、数直線を用いた考え方に触れさせたりしながら繰り返し指導をしていく。
図形	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○直方体を組み合わせた形の体積を求める問題は、正答率が87.0%と市の平均よりも3.7ポイント高い。 ●正八角形の作図方法から、円の中心のまわりにできる角の大きさと、正八角形の1つの内角の大きさを求める問題は、正答率が41.0%と市の平均よりも2.5ポイント低い。	・図形の性質の理解が不十分である。それぞれの図形がどのような性質をもっているのか、性質の違いを比べながら意識できるように指導していく。
変化と関係	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○時速を求める式を選ぶ問題は、正答率が85.0%と市の平均よりも0.3ポイント高い。 ●兄と弟が同時にゴールするために弟が走る距離を求める問題についての正答率は33.0%と市の平均よりも9.0ポイント低い。	・考えを文章にすることが苦手な児童が多く、記述する問題については無回答率が高い。日々の授業の中でも、自分の考えを文章で書いたり説明したりする機会を設け、自分の考えを表現する経験を増やしていく。
データの活用	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○集団のデータの平均値を求める問題は、正答率が79.0%と市の平均より0.4ポイント高い。 ●もとにする量の大きさが違うとき割合の大小と比べる量の大小は一致しないことを具体的に説明する問題では、正答率が22.0%と市の平均よりも11.7ポイント低い。	・もとにする量についての理解が不十分で、割合の問題に課題がある。記述式で答えるため、無回答の児童も多かった。基本的な問題に繰り返し取り組ませたり、つまづきやすい問題を示したりすることで、割合の問題に慣れさせ、少しずつ応用問題にも取り組めるよう指導していく。